

参院選宮城

野党「反安倍」で攻勢

4党共闘与党は批判「野合」

参院選宮城選挙区(改選数1)は2日、民主党県連と共産党県委員会が民主党

と共産党県委員会が民主党現職桜井充氏(59)に候補者を一本化し、維新、社民も加えた4党共闘が成立した。「反安倍政権」を旗印に結集した野党勢力を、与党の自民、公明両党は「野合だ」と強くけん制。対決

ムードが一気に高まった。(2面に関連記事)

共産党に先立ち、2月に桜井氏と政策協定を結んだ社民党県連の岸田清実幹事長は「保守系寄りの国会議員も多い民主党が、共産党との共闘を決断したことに敬意を表する」と歓迎。「安全保障法制廃止に向け野党

は一致団結して戦う」と力を込めた。民主党と新党結成協議を進める維新の党。県総支部の伊藤優太幹事長は「有権

者は政策を見ている。『反安倍』だけではなく、しっかりした理念と政策を掲げて参院選を戦うことが重要だ」と述べた。

2014年衆院選の比例代表の県内得票をベースに試算すると、候補者を一本化した民主、維新、共産、社民4党と生活の党を合わせると47万票に達する。一方、政権与党の自民、公明両党と次世代の党(当時)

は約44万票にとどまる。現職熊谷大氏(41)を擁立する自民党関係者は「厳しい戦いになる」と警戒感をさらに強めた。安倍政権打倒を盛り込んだ民主、共産両党の政策協定には「違和感がある」と指摘。「両党で連立政権を目指すのだから。有権者はついていけないだろう」と冷やかに受け止めた。

熊谷氏に推薦を出した日本のあるところを大切に。党の中野正志幹事長は「安倍法廃止は中国や北朝鮮を喜ばせるだけ。県民は賢明な判断をするはずだ」との見方を示した。

市民団体は歓迎、労組に違和感も

民主党県連と共産党県委員会による候補者調整が成立した2日、仙台市内であった政策協定締結式には、野党共闘を働き掛けた市民団体関係者も駆け付け、統一候補の誕生を喜んだ。「やっと団結してくれたという思いが強い」。桜井充氏に花束を手渡した学生ネットワーク「シールズ東北」メンバーの久道瑛未さん(20)は「参院選の勝利に向け、きょうはあくまでスタート地点」と決意を新たに

「安保関連法に反対するママの会宮城」の吉田美智

子さん(36)も「活動に一定の成果が出た。桜井氏を国政に送り、市民の声を国会に届けてもらう」と期待した。

昨年12月、民主、共産と社民3党の県組織幹部の懇談会を企画した「みやぎ憲法九条の会」。メンバーの一人は「安保法反対の一点で一つになったことを歓迎する。9条を守るといわれるの訴えに注目が集まるといい」と述べた。

民主、社民両党の共闘を取り持った連合宮城の幹部は「桜井氏への支援が一層厚くなり、戦う態勢が強ま

たい。単に政権に批判的な有権者の受け皿をつくっただけ」。公明党県本部の庄子賢一代表は「野合のそしりは免れない」と批判した。

を持つ産別もあり、幹部は「過度なアレルギー反応が出ないよう、丁寧に説明したい」と語った。



野党共闘が

調印式後、野党共闘を呼び掛けていた市民団体関係者らと記念撮影する桜井氏(中央)＝2日、仙台市青葉区の仙台国際ホテル

調印式後、野党共闘を呼び掛けていた市民団体関係者らと記念撮影する桜井氏(中央)＝2日、仙台市青葉区の仙台国際ホテル

調印式後、野党共闘を呼び掛けていた市民団体関係者らと記念撮影する桜井氏(中央)＝2日、仙台市青葉区の仙台国際ホテル

調印式後、野党共闘を呼び掛けていた市民団体関係者らと記念撮影する桜井氏(中央)＝2日、仙台市青葉区の仙台国際ホテル

調印式後、野党共闘を呼び掛けていた市民団体関係者らと記念撮影する桜井氏(中央)＝2日、仙台市青葉区の仙台国際ホテル

調印式後、野党共闘を呼び掛けていた市民団体関係者らと記念撮影する桜井氏(中央)＝2日、仙台市青葉区の仙台国際ホテル

調印式後、野党共闘を呼び掛けていた市民団体関係者らと記念撮影する桜井氏(中央)＝2日、仙台市青葉区の仙台国際ホテル

宮城で共産・民主政策協定

参院選挙区桜井候補に一本化

いわぶち候補
「比例で全力」

夏の参院選に向けて、日

本共産党宮城県委員会と民主党宮城県連、民主党現職の桜井充宮城選挙区候補は2日、仙台市内で政策協定書に調印し、選挙区候補(改選数1)を桜井氏に一本化することを発表しました。調印式には、日本共産党の中島康博県委員長、加藤幹夫書記長、いわぶち彩子

宮城選挙区候補と民主党の政策協定は、①安保法制
安住淳県連代表、郡和子幹 廃止②アベノミクスの格差
事長、桜井氏が出席しまし 是正③原発依存脱却④不公
平税制是正⑤米軍新基地反

対⑥安倍政権打倒の6項
目。

中島県委員長は、桜井氏
当選へ全力を尽くすと強調
し、いわぶち候補について

参院比例候補として活動す
ると発表しました。また、
「安倍内閣が締結しようと

している環太平洋連携協定
(TPP)には反対」「安倍
内閣が進める消費税10%へ

の増税に反対」の2点を、
今後の政策協議の中で検討
することを求めました。

政策協定書

- ①立憲主義に基づき、憲法違反の安保関連
法廃止と集団的自衛権行使容認の7・1
閣議決定の撤回を目指す。
- ②アベノミクスによる国民生活の破壊を許
さず、広がった格差を是正する。
- ③原発に依存しない社会の早期実現、再生
可能エネルギーの促進を図る。
- ④不公平税制の抜本是正を進める。
- ⑤民意を踏みにじって進められる米軍辺野
古新基地建設に反対する。
- ⑥安倍政権の打倒を目指す。



調印後、市民団体から花束を受け取る(左2人目から)桜井、いわぶち両氏=2日、仙台市

桜井氏は「全国で一番早
く共産党と協定を結べた。
安倍暴走政治を止めるため
の国民の共闘としてたたか
う」、いわぶち氏は「野党
と市民運動の連携による安
倍政権打倒へのスタートラ
インに立てた。比例候補と
して全力を尽くす」と語り
ました。